健康三原則と関連して、「病気をなおす力」や薬について説明をしています。

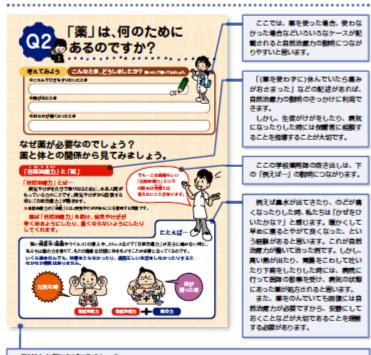
薬を使わなくても、病気やけがが治った経験を出し合い、体には「病気を なおす力(自然治癒力)」があることに気付くようにします。

「病気をなおす力」と健康三原則には関係があることや、薬には「病気を なおす力」を高めたり、病気やけがを早く治したり重くならないようにしたり することが理解できるようにします。



薬と自然治癒力の関係について説明しています。

人間には自然治療力があることを理解した上で、病気やけがなどの時に、 健康を回復するための補助や病気の進行をおさえる働きをするのが薬で あることが理解できるようにします。



「結核」を例にあげてみましょう。

結核という病気は、結核菌という細菌が修染することで起こります。治療薬の無かった時代は、「食器にして栄養をとる」という方法しかありませんでした。しかし、いわゆる自然治療力を高める工夫だけでは、結核菌に打ち充っことができずに多くの人がってくなっていました。このような理由から昭和20年代初めまで結核は日本で最も恐れられていた病気でした。ところがその後、発見されたストレブトマイシンという抗生物質の使用により、結核で亡くなる人は困難しました。

このように現代では、検査により結構にかかっていることがわかれば、製種類の有効なが生物質を組み合わせて 使用することで、ほとんどの場合で治療することができるようになっています。

指導者用補助説明

- 医薬品・医薬部外品・化粧品
- 薬と食品などののみ合わせ
- 体内に入った薬の動き
- 将来の薬
- 薬からの恩恵
- 内用剤
- 説明書(添付文書)の例

啓発資料作成時の留意点

- 健康三原則を前提
- ◆くすりには作用と副作用の両面がある
- ◆くすりを適正に使用することが副作用の最小 化につながる
- 「なぜ」が分かるように
- ワークを入れる
- こどもの発達に合わせて難易度を調整
- 保護者にも理解を

「医薬品に関する教育」保健教育指導者研修会

主催:財団法人 日本学校保健会

平成21年度

東京開催 7月29日

大阪開催 8月24日

愛知開催 12月28日

福岡開催 1月14日

平成22年度

札幌開催 7月29日

東京開催 8月12日

大阪開催 8月24日

盛岡開催 10月22日

参加対象:保健体育科教諭、養護教諭、保健主事、管理職、

学校薬剤師

- ①学習指導要領に基づく「医薬品」に関する教育について 北垣邦彦(文部科学省調査官)
- ②「医薬品の正しい使い方」(指導者用解説)等小冊子の紹介 鬼頭英明(兵庫教育大学大学院教授)
- ③「医薬品の正しい使い方」を用いた授業実践事例 中学校実践事例(札幌・盛岡開催)講師:

香田由美(門司学園高等学校養護教諭)

上田裕治(京都市立大原中学校教諭)

高等学校実践事例(東京・大阪開催)講師:

長岡邦子(埼玉県立越谷技術高等学校)

冨岡剛(鹿児島県立加治木高等学校教諭)

④「学校薬剤師」との連携のあり方

加藤哲太(東京薬科大学薬学部教授)

⑤特別講演「よりよいセルフメディケーションの実践に必要な知識」 望月眞弓(慶應義塾大学薬学部教授)